



“TEAM FUKUOKA” 躍進続く! 掴むぞ8位入賞!

カヌー少年男子 2人で27点獲得!

前日、カヤックペア500mで4位入賞を果たした下川選手と田中選手(ともに三潞高校)。3日には、同種目200mに優勝を狙っての出場。決勝レースは、上位5チームの力が拮抗し、最後の最後までつれた。何と1着から5着までが約0.6秒内でゴールする見所あるレースであった。本県の結果は、惜しくも5位となったが、前日と合わせて2人で27点もの競技得点を勝ち取り、TEAM FUKUOKAに大きく貢献した。



【下川選手(左)と田中選手(ともに三潞高校)】

ラグビー 強さの秘密!

3日、少年男子の準決勝 兵庫県戦。前半3トライを決め福岡のペースで試合が進み、28-12で快勝。決勝進出を決めた。

また、昨年度の国体の覇者である女子チームも予選リーグで1敗したものの、決勝トーナメント進出。4日の決勝戦までの試合に大きな期待がかかる。

この「福岡ラグビー軍団」の強さの秘密を探ってみた。

- ① 選手同士が声をかけ合い、十分なコミュニケーションが取れている。
- ② 監督・スタッフが共通認識を持ち、試合中を含む各場面において、個々の選手に最善かつ的確なアドバイスを行っている。
- ③ 各スタッフが各自の役割を十分に理解し、TEAMとしての組織的な動きが確立されている。



【選手に対応する山下ドクター】

バスケットボール成年男女ダブルで決勝進出!

バスケットボール競技の快進撃が続く。成年男子は、準決勝で埼玉県と対戦、第2Qが終わり、9点差をつけられた。第3・4Qに、粘り強いディフェンスと早い攻撃により、福岡は70-60で勝利。決勝へと進んだ。

成年女子も、準決勝の愛媛県戦。3Qまでお互い譲らずゲームは進んだが4Qで堅い守りからの速攻で、福岡らしさを出し、72-64と8点差をつけ、決勝進出。ベンチと一体となり、「心を一つに」することができた福岡! 強い気持ちが前面に出た素晴らしいゲームだった。

4日の決勝で、それぞれ頂点を目指す。

卓球少年男子 堂々たる3位入賞!

準決勝は、インターハイ準優勝メンバーを擁する愛知県戦。一人目、二人目を相次いで落とした福岡県。崖っぷちでの登場は、カットマン原田。粘りに粘って相手のミスを誘い、1・2セットを連取したものの、紙一重の差で3セットを連取され、敗退が決定。しかしながら、最後まで粘りを見せた選手たちは、価値ある3位入賞を果たした。

石田監督は、「強豪にここまで競っていったのは大きな収穫。まだ若いチームなので、来年以降、もう一つ上を目指す。」と、語った。



【ゲーム中の成年男子チームの様子】



【卓球少年男子チーム】

国体の情報については、大会ホームページ (<http://fukui2018.pref.fukui.lg.jp/>) より、ご覧ください。

※Facebookにおいても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係